国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

水資源機構

令和８年４月１３日
国土交通省関東地方整備局河川部
独立行政法人　水資源機構

利根川水系及び荒川水系のダム等の現状についてお知らせします

～ダム等は貯留傾向にありますが、引き続き慎重な水運用を行って参ります～

利根川水系では、融雪の進行等により、９ダム合計の貯水量は増加している状況です。しかしながら、既に消雪した地点もあるなど、平年よりも早いペースで融雪が進んでいることから、注視が必要な状況です。

荒川水系においては、３月下旬から４月上旬にかけての断続的な降雨の影響により、４ダム合計の貯水量は増加している状況にありますが、依然として滝沢ダムの管理開始以降最小の水準で推移しています。

現時点においては、利根川・荒川本川の流量は、融雪及び降雨の影響で一時的に安定しており、ダムからの補給を必要としていない状況ですが、融雪が早く終わることが予想されることと、少雨が続いた場合には、例年に比べて早い時期からダムの補給が必要になることが懸念されます。

現在、関東地方整備局および水資源機構では、河川の流況や気象状況を注視しながら、ダム等の施設についてきめ細やかな操作を行っているところです。引き続き、慎重な水運用を行うとともに、状況に応じて必要な情報を発信してまいります。

なお、ダム等に貯留された水資源には限りがあります。日頃より節水にご協力いただいている皆さまに感謝申し上げるとともに、引き続き水を大切に使って下さいますようお願いいたします。

《4 月 10 日 0 時　ダム等の貯水状況》

利根川９ダム合計	貯水量	３３,０８８万㎥	貯水率６０％（過去平均の１０６％）
鬼怒川４ダム合計	貯水量	２２,６５１万㎥	貯水率８９％（過去平均の１００％）
荒川４ダム合計	貯水量	６,０４５万㎥	貯水率４２％（過去平均の６４％）

＜発表記者クラブ＞　竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 東京都庁記者クラブ
千葉県政記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ 刀水クラブ･テレビ記者会 水資源記者クラブ

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局 河川部 電話：０４８－６０１－３１５１（代表） FAX：０４８－６００－１３７９
河川環境課　課長　土谷（つちや）　（内線：３６５１）
建設専門官　田島（たじま）　（内線：３６５２）
水資源機構　電話：０４８－６００－６５４３（直通）
危機管理監付 課長補佐　谷藤（やとう）

利根川・荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて

奥利根湖と利根川源流の山々（令和８年４月６日撮影）

令和８年４月１３日

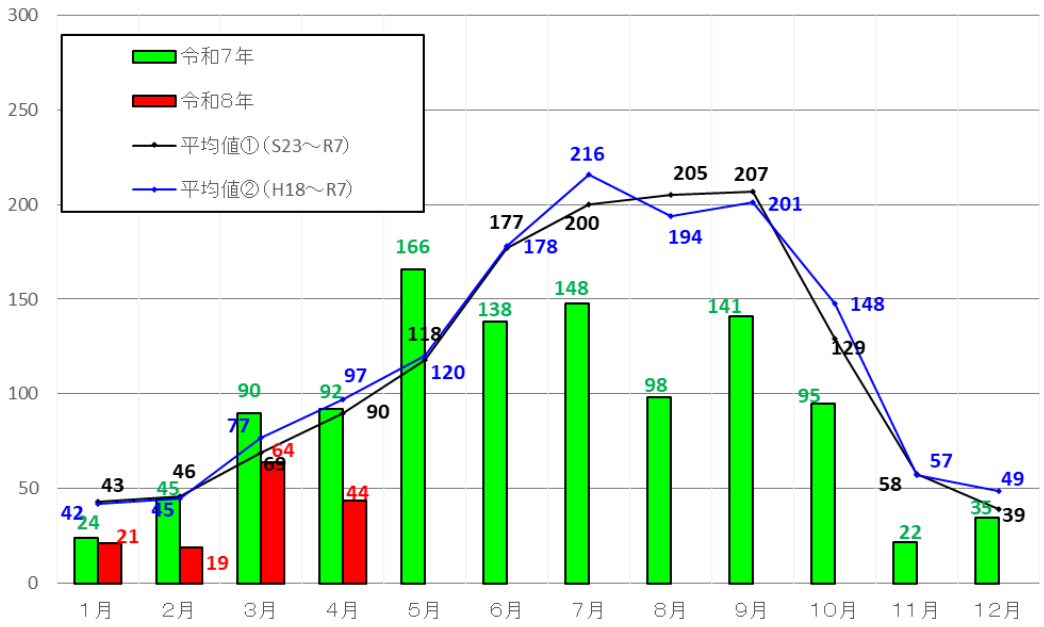
関 東 地 方 整 備 局

１．利根川上流９ダム等の現状

（１）利根川

１）栗橋地点上流域平均降水量の状況（令和 8 年 4 月 10 日 0 時までの降水量）

栗橋地点（埼玉県久喜市栗橋地先）上流域における降水量は、令和 7 年は 6 月以降、平均値（(昭和 23 年～令和 6 年の 77 年間の平均）を下回り続けました。令和 8 年においては、1 月、2 月は平均値（昭和 23 年～令和 7 年の 78 年間の平均）の半分以下の降水量となり、3 月は平均値 69mm と同程度の 64 mmの降水量がありましたが、4 月は 10 日 0 時時点で平均値 90 mmの約 5 割である 44mm となっています。　　（図－1、表－1 参照）



図－1　利根川栗橋地点上流域平均降水量（令和 8 年 4 月 10 日 0 時まで）

表－1　利根川栗橋上流域平均降水量（令和 8 年 4 月 10 日 0 時まで）　単位：mm

単位（mm）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘　要
平成２７年	57	36	63	86	45	221	248	207	300	29	127	33	1,452	-
平成２８年	69	36	57	104	56	156	134	328	312	55	68	56	1,431	-
平成２９年	61	37	56	73	95	97	240	274	113	368	18	22	1,454	-
平成３０年	39	17	108	69	128	114	178	187	254	56	23	35	1,208	-
令和元年	26	17	75	96	108	248	249	195	95	489	56	36	1,690	-
令和２年	76	25	99	134	104	211	278	81	163	146	10	29	1,356	-
令和３年	34	45	102	78	95	181	256	271	151	77	59	70	1,419	-
令和４年	28	47	58	127	142	134	282	118	217	65	70	36	1,324	-
令和５年	22	26	86	64	138	270	90	193	154	102	48	23	1,216	-
令和６年	49	65	135	87	130	145	148	306	154	124	76	25	1,444	-
平均値①（S23～R6）	44	46	69	90	117	177	200	207	208	130	59	39	1,385	-
平均値②（H17～R6）	45	45	75	94	114	175	225	203	201	148	58	50	1,433	-
令和７年	24	45	90	92	166	138	148	98	141	95	22	35	1,094	-
平均値①に対する割合	55%	97%	130%	102%	142%	78%	74%	47%	68%	73%	37%	90%	79%	-
平均値③（S23～R7）	43	46	69	90	118	177	200	205	207	129	58	39	1,381	-
平均値④（H18～R7）	42	45	77	97	120	178	216	194	201	148	57	49	1,424	-
令和８年	21	19	64	44									148	-
平均値③に対する割合	49%	41%	93%	49%									11%	-

注）平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（77 ヶ年又は 78 ヶ年）を平均したもの
平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近 20 ヶ年を平均したもの

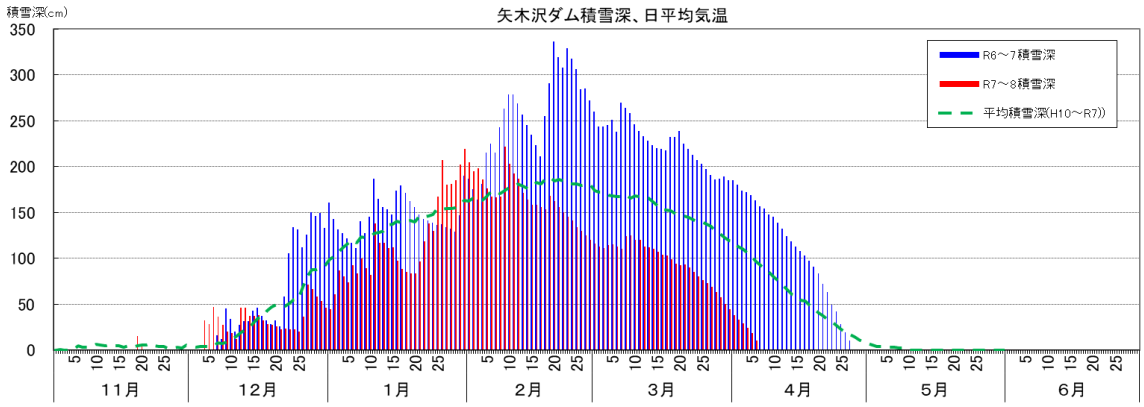
２）矢木沢ダム地点、奈良俣ダム地点、藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の雪の状況
（令和７年～令和８年　冬期）

《積雪深・降雪量》

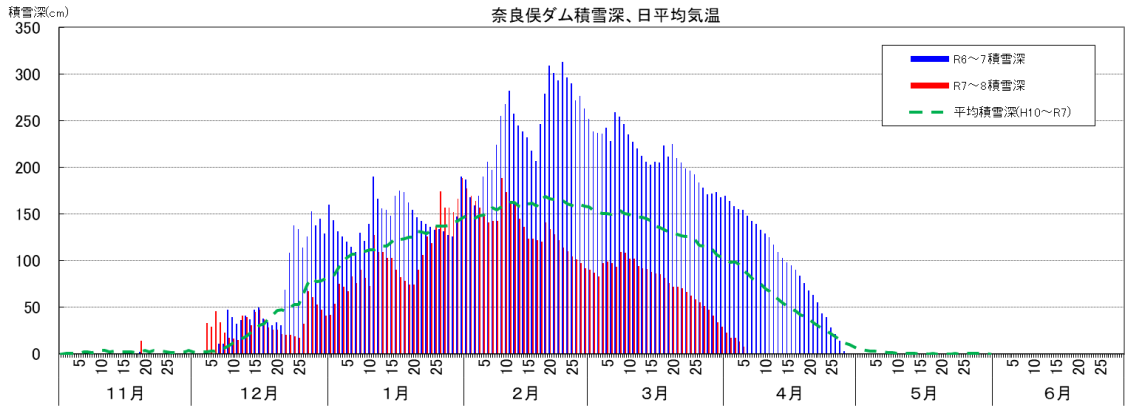
今冬の各地点の積雪深は、２月下旬以降、平均を下回る状況でした。

藤原地点の気温は、月平均で平年に対して、11 月、12 月は±0℃、1 月は－1℃、2 月、3 月は＋2℃となっています。4 月は 6 日までで＋5℃となっています。　（図－2～7 参照）

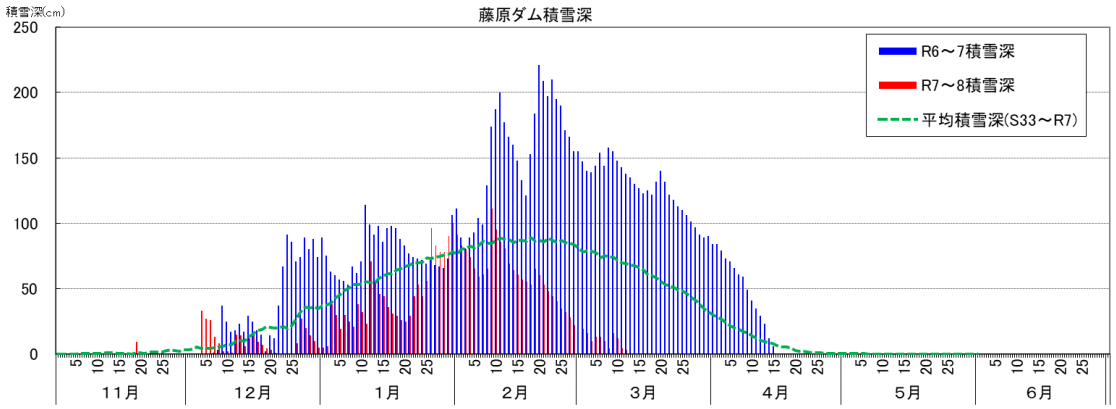
図－2　観測地点の位置



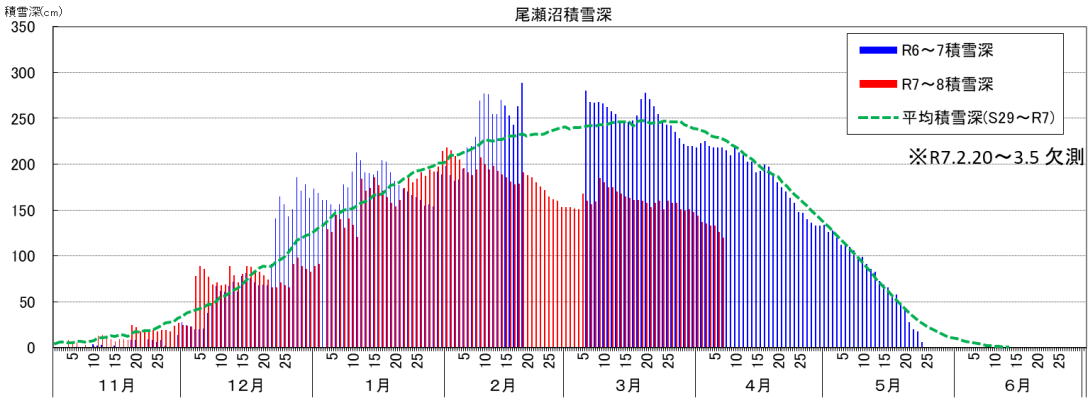
図－3　矢木沢ダム地点の積雪深（令和８年４月６日９時まで）



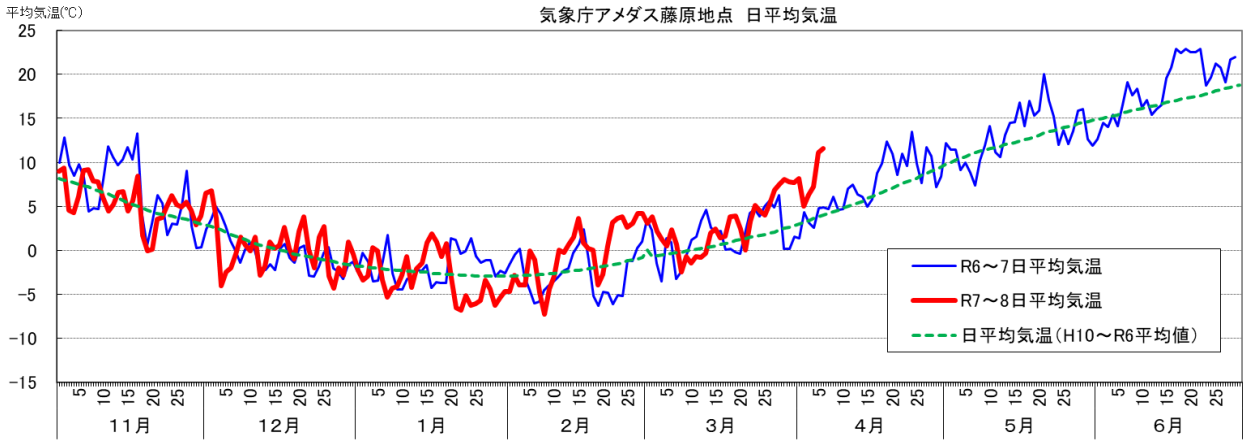
図－4　奈良俣ダム地点の積雪深（令和８年４月６日９時まで）



図－5　藤原ダム地点の積雪深（令和 8 年 4 月 6 日 9 時まで）



図－6　尾瀬沼地点の積雪深（令和 8 年 4 月 6 日 9 時まで）

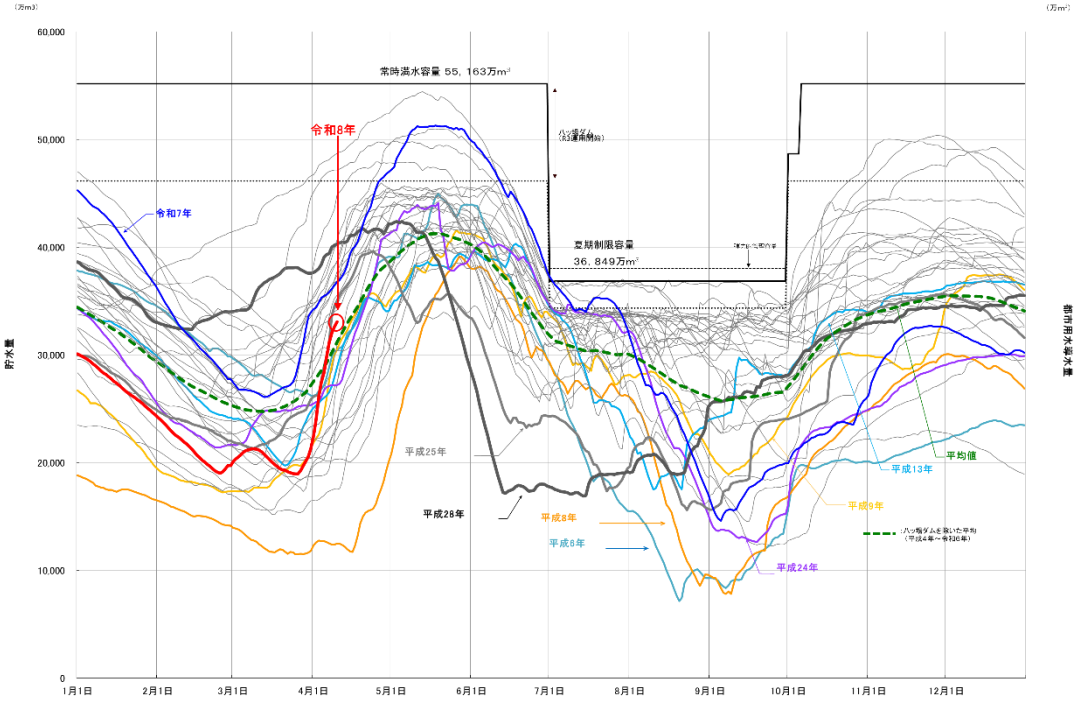


図－7　藤原地点日平均気温（令和 8 年 4 月 6 日まで）

３）利根川上流９ダムの貯水状況等（令和８年４月10日０時現在）

利根川上流９ダムでは、令和７年９月以降は、台風15号や前線等に伴う降雨の影響、さらに農業用水の取水量の減少により、貯水量は回復しました。その後、貯水量が大きく回復するような秋雨等のまとまった降雨もなく、11月下旬から徐々に貯水量が減少しました。3月27日以降は、降雨や気温の影響から融雪が進行し、貯水量は増加傾向にあり、令和８年４月10日０時時点の合計貯水量は３億3,088万m3（貯水率約60%）になっています。

（図－8、表－2参照）



図－8　利根川上流９ダム合計貯水量図（令和８年４月10日０時現在）

表－2　利根川上流９ダム　ダム別貯水量（令和８年４月10日０時現在）

ダム名	有効容量（万m³）	貯水量（万m³）	貯水率（%）
矢木沢ダム	11,550	6,670	58%
奈良俣ダム	8,500	6,271	74%
藤原ダム	3,101	2,857	92%
相俣ダム	2,000	1,317	66%
薗原ダム	1,322	1,223	93%
八ッ場ダム	9,000	5,704	63%
下久保ダム	12,000	3,548	30%
草木ダム	5,050	4,245	84%
渡良瀬貯水池	2,640	1,253	47%
９ダム合計	55,163	33,088	60%
８ダム合計の平均値（平成４年～令和７年）		31,190	（平均値に対して106%）

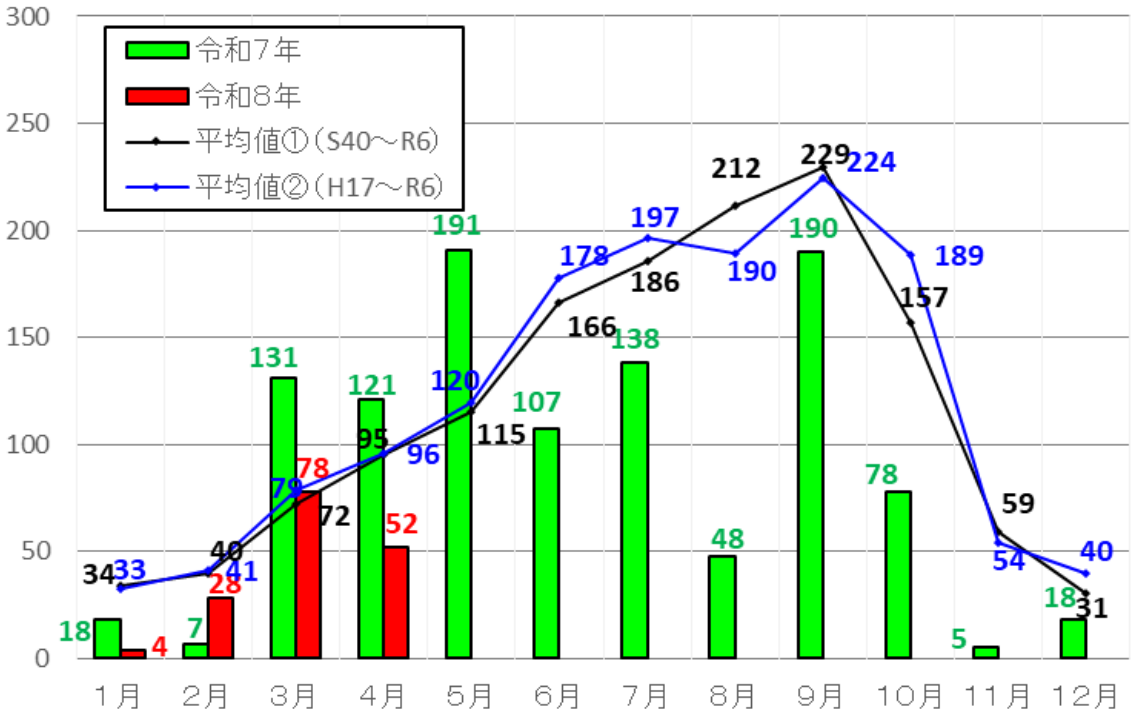
※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合
※過去の貯水量平均値は、八ッ場ダム貯水量を含めず８ダムの合計貯水量で計算したもの

（２）鬼怒川

１）佐貫地点上流域平均降水量の状況（令和８年４月10日０時までの降水量）

佐貫地点（栃木県塩谷町佐貫地先）上流域における降水量は、令和７年は８月から11月まで、平均値（昭和47年～令和６年の53年間の平均）を下回る状況が続きました。令和８年においては、１月は平均値（昭和47年～令和７年の54年間の平均）51㎜と同程度の46㎜の降水量がありましたが、２月以降は平均値を下回る降水量となっており、４月は10日０時時点で、平均値102㎜の約７割に相当する72㎜となっています。

（図－9、表－3 参照）



図－9　鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和８年４月10日０時まで）

表－3　鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（令和８年４月10日０時まで）単位：㎜

単位(㎜)	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計	摘　要
平成２７年	55	67	82	68	61	204	276	201	624	28	112	47	1,825	
平成２８年	66	35	31	109	63	138	94	401	306	49	53	47	1,392	
平成２９年	91	45	38	74	93	95	242	337	200	392	18	62	1,687	
平成３０年	73	19	174	74	132	94	240	330	328	107	31	51	1,653	
令和元年	23	12	71	71	149	245	251	266	132	590	64	25	1,899	
令和２年	106	19	78	172	108	135	231	102	369	120	12	44	1,496	
令和３年	34	56	125	101	99	186	255	364	169	91	111	116	1,707	―
令和４年	56	53	61	115	207	145	296	162	239	77	62	48	1,521	
令和５年	30	26	63	68	150	248	87	321	211	116	87	13	1,420	―
令和６年	74	43	133	76	162	109	169	359	185	128	82	41	1,561	―
平均値①(S47～R6)	51	51	75	102	125	179	225	275	281	154	82	47	1,647	
平均値②(H17～R6)	51	42	70	92	130	177	236	253	289	173	63	63	1,638	-
令和７年	39	64	74	116	191	141	234	124	171	147	24	72	1,397	―
平均値①に対する割合	76%	125%	99%	114%	153%	79%	104%	45%	61%	95%	29%	153%	85%	―
平均値③(S47～R7)	51	52	75	102	126	179	225	272	279	154	81	48	1,644	
平均値④(H18～R7)	50	43	71	96	136	179	231	245	287	177	61	64	1,640	-
令和８年	46	22	56	72									196	―
平均値③に対する割合	90%	42%	75%	71%									12%	―

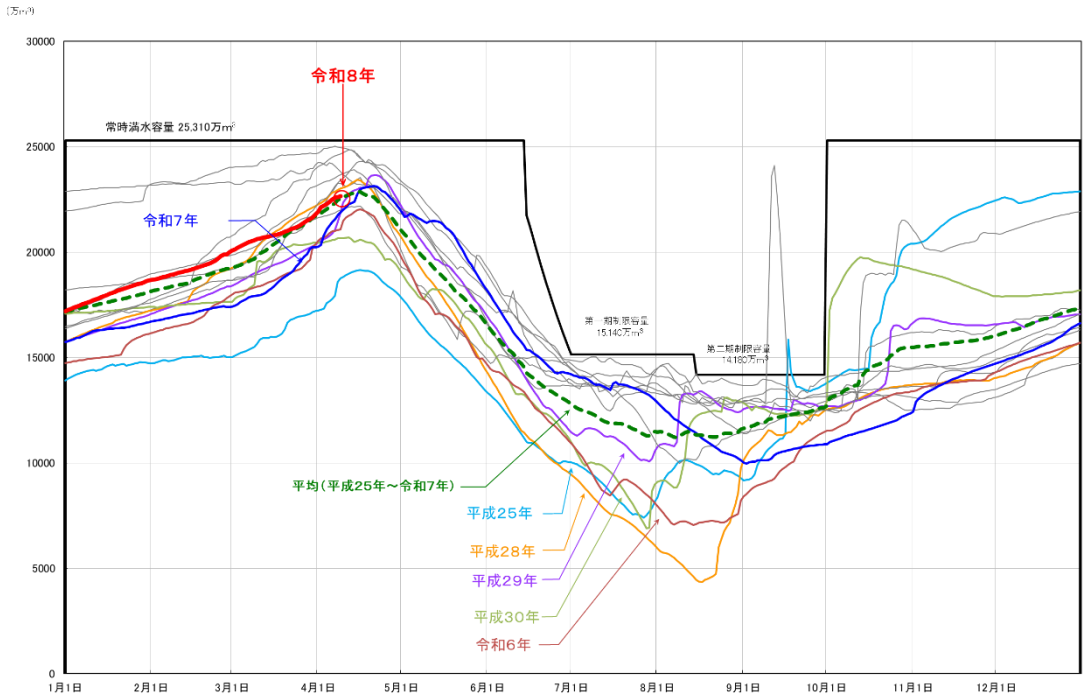
注）平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（53ヶ年又は54ヶ年）を平均したもの
平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

２）鬼怒川上流４ダムの貯水状況等（令和８年４月10日０時現在）

鬼怒川上流４ダムでは、令和７年９月以降、台風15号や前線等に伴う降雨の影響、さらに農業用水の取水量の減少により、貯水量は増加しました。その後、貯水量は徐々に増加し、令和８年４月10日０時時点の合計貯水量は２億2,651万m3（貯水率約89%）となっています。

（図－10、表－４参照）

図－10　鬼怒川上流４ダム合計貯水量図（令和８年４月10日０時現在）



表－４　鬼怒川上流４ダム　ダム別貯水量（令和８年４月10日０時現在）

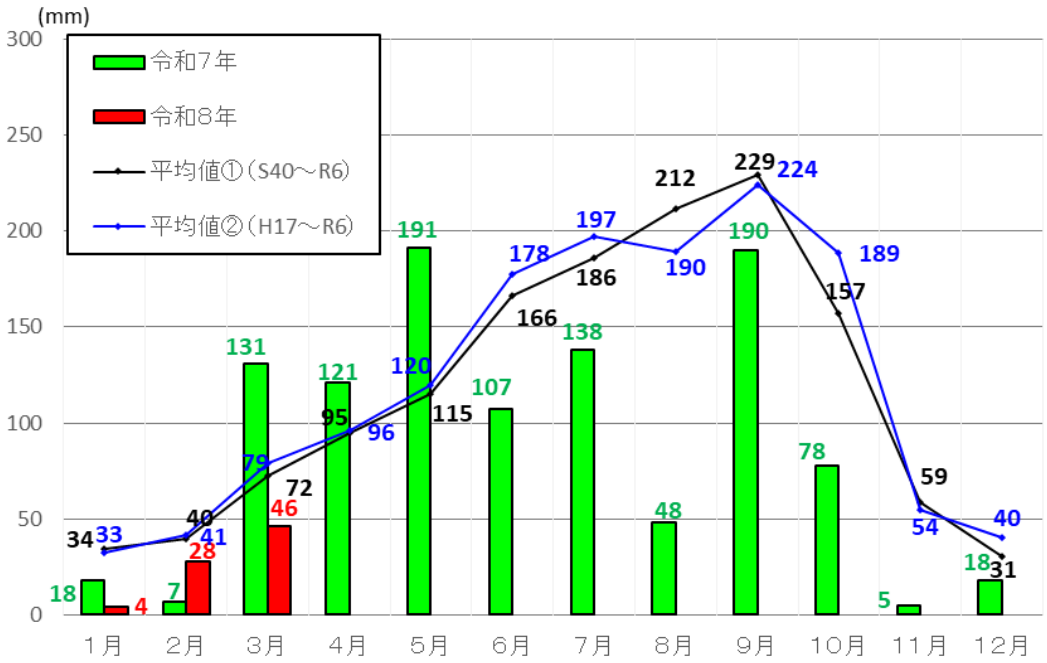
ダム名	有効容量（万m³）	貯水量（万m³）	貯水率（%）
五十里ダム	3,200	3,086	96%
川俣ダム	7,310	7,070	97%
川治ダム	7,600	7,308	96%
湯西川ダム	7,200	5,187	72%
４ダム合計	25,310	22,651	89%
４ダム合計の平均値（平成２５年～令和７年）		22,633	（平均値に対して100%）

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

（３）荒川水系

１）秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和８年４月10日０時までの降水量）

秋ヶ瀬（埼玉県志木市宗岡地先）地点上流域における降水量は、令和７年６月以降、平均値（昭和40年～令和６年の60年間の平均）を下回り続けました。令和８年においては、１月は平均値（昭和40年～令和７年の61年間の平均）34㎜の約１割である４㎜と特に少ない状況であり、２月以降も平均値を下回る降水量となり、４月は10日０時時点で平均値95㎜の約６割である52㎜となっています。　（図－11、表－5参照）



図－11　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和８年４月10日０時まで）

表－5　荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和８年４月10日０時まで）単位：㎜

単位(㎜)	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合 計	摘　　要
平成２６年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682	
平成２７年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424	
平成２８年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平成２９年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438	
平成３０年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312	
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881	
令和２年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559	
令和３年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366	
令和４年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361	
令和５年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	47	9	1,110	－
令和６年	26	58	124	72	160	184	103	409	115	146	65	2	1,464	－
平均値①（S40～R6）	34	40	72	95	115	166	186	212	229	157	59	31	1,396	－
平均値②（H17～R6）	33	41	79	96	120	178	197	190	224	189	54	40	1,440	－
令和７年	18	7	131	121	191	107	138	48	190	78	5	18	1,052	－
平均値①に対する割合	53%	18%	181%	128%	166%	64%	74%	23%	83%	50%	8%	59%	75%	－
平均値③（S40～R7）	34	39	73	95	116	165	185	209	229	156	58	30	1,389	－
平均値④（H18～R7）	30	40	83	99	125	178	187	177	225	186	53	41	1,424	－
令和８年	4	28	78	52									162	－
平均値③に対する割合	12%	72%	107%	55%									12%	－

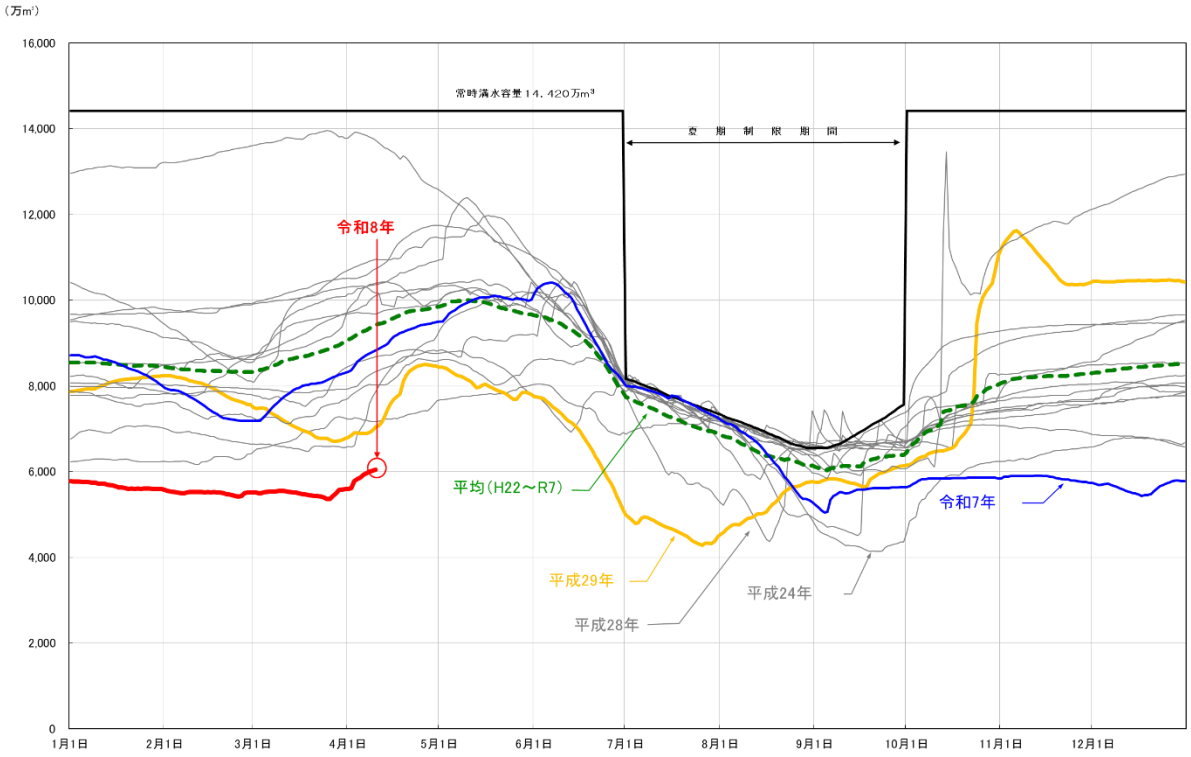
注）平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（60ヶ年又は61ヶ年）を平均したもの
　　平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

２）荒川４ダムの貯水状況等（令和８年４月10日０時現在）

荒川４ダムでは、令和７年９月以降、台風15号や前線等に伴う降雨の影響、さらに農業用水の取水量の減少により、貯水量は回復傾向にありました。その後、貯水量が大きく回復するような秋雨等のまとまった降雨がなく、11月中旬から徐々に貯水量が減少し、令和８年４月10日０時時点の合計貯水量は、6,045万m3（貯水率42%）となっています。

（図－12、表－6参照）

図－12　荒川４ダム合計貯水量図（令和８年４月10日０時現在）



表－6　荒川４ダム　ダム別貯水量（令和８年４月10日０時現在）

ダム名	有効容量（万m³）	貯水量（万m³）	貯水率（%）
二瀬ダム	2,000	475	24%
滝沢ダム	5,800	1,892	33%
浦山ダム	5,600	2,659	47%
荒川貯水池	1,020	1,019	100%
４ダム合計	14,420	6,045	42%
４ダム合計の平均値（平成２２年～令和７年）		9,423	（平均値に対して64%）

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

２．今後の見通し

気象予報

令和 8 年 4 月 9 日気象庁発表の関東甲信地方の 1 か月予報(令和 8 年 4 月 11 日から令和 8 年 5 月 10 日までの見通し)によると、向こう 1 か月の気温は「高い」の確率が 70% 、降水量は「平年並」、「多い」の確率が 40%となっています。

また、令和 8 年 3 月 24 日気象庁発表の 3 か月予報(令和 8 年 4 月から令和 8 年 6 月までの見通し)によると、向こう 3 か月の気温は「高い」の確率が 70% 、降水量は「平年並」、「多い」の確率が 40%となっています。

1 か月予報（令和 8 年 4 月 9 日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	向こう１か月 04/11～05/10	10	20	70
		１週目 04/11～04/17	10	10	80
		２週目 04/18～04/24	10	40	50
		３～４週目 04/25～05/08	10	40	50
降水量	関東甲信地方	向こう１か月 04/11～05/10	20	40	40
日照時間	関東甲信地方	向こう１か月 04/11～05/10	40	40	20

低い(少ない)　平年並　高い(多い)

3 か月予報（令和 8 年 3 月 24 日発表）

気温、降水量の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	04月～06月	10	20	70
		04月	10	20	70
		05月	10	30	60
		06月	10	30	60
降水量	関東甲信地方	04月～06月	20	40	40
		04月	20	40	40
		05月	30	30	40
		06月	30	30	40

低い(少ない)　平年並　高い(多い)

現在の積雪状況（矢木沢ダム）

撮影日：令和8年4月6日

矢木沢ダム地点積雪深：10cm

同時期の平均的な積雪状況（矢木沢ダム）

撮影日：令和8年3月23日

「同時期の平均的な積雪状況」は、3月23日の平均積雪深を示しています。イメージとして、平均積雪深であった3月23日の写真を使用しています。

現在の積雪状況（みなかみ町藤原付近）

撮影日：令和8年4月3日

同時期の平均的な積雪状況（みなかみ町藤原付近）

撮影日：令和8年3月11日

「同時期の平均的な積雪状況」は、3月9日の平均積雪深を示しています。イメージとして、平均積雪深であった3月11日の写真を使用しています。